

▼シスコシステムズ

神戸大学病院にネットワークインフラを導入

▲モビリティソリューション

シスコシステムズは、神戸大学病院に、病院内のユビキタス環境を実現するモビリティソリューションを導入した。

今回、同病院に導入したモビリティソリューションは、03年3月から本番稼働が始まっている電子カルテシステムの活用基盤となるもの。同病院では以前から、医療事務システムや診療オーダーエントリーシステムなどの導入を行っており、医療現場におけるIT活用を積極的に進めてきた。02年11月には既存の診療オーダーエントリーシステムをリプレースする形で、診療オーダーエントリーシステムと統合された電子カルテシステムの構築を開始。このシステムの構築と並行して、新しいネットワークインフラの整備も進められ、このネットワークインフラに同社のモビリティソリューションが採用されたものである。

このネットワークインフラは03年2月に完成し、その上で稼働する電子カルテシステムとともに、病院全体の情報インフラとして重要な役割を果たしている。この環境によって03年8月には看護部門におけるペーパーレス化が実現され、04年3月までには病棟全体のペーパーレス化を達成する計画である。なお、今回構築された電子カルテシステムとネットワークインフラの設計・構築は、麻生情報システムと同病院の医療情報部によって行われた。

※問い合わせ先=シスコシステムズ パブリックリレーショングループ ☎03・5549・6300

▼エムイーネット

在宅医療の現場をサポート

▲在宅医療革命カムイ

エムイーネットは、在宅医療を行う診療所や病院向けに医療統合システム「在宅医療革命カムイ」=システム解説図=を04年1月より販売開始する。



〈特長〉

▼手計算では発生しやすい請求もれをなくすため、在宅医療特有の算定を自動計算化、また、診療報酬の改正にもすみやかに対応

▼医事会計と連動して情報を一元管理する設計のため、患者情報等の基本情報の入力が入度で済む。診療所や病院で働く様々な職種の業務情報や外来患者・在宅患者データの一元管理により、簡単な操作とわかりやすい画面で業務負担の大幅な軽減とコストの削減を実現

▼スケジュール管理をはじめ、処方箋や紹介状、支援病院の情報提供書、訪問看護ステーションへの指示書など在宅医療を行う診療所や病院で必要とされる書類が簡単な操作でスピーディに作成可能

〈価格〉500万円

※問い合わせ先=エムイーネット 営業部 ☎03・5233・1500

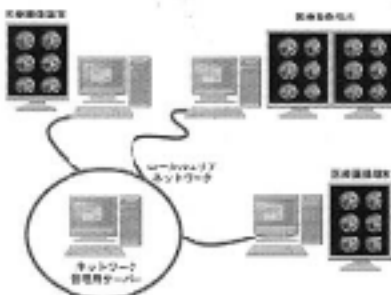
▼リアルビジョン

医療画像表示用ネットワーク管理ソフトウェア

▲LumiCal・LimiCalAdministrator

リアルビジョンは、医療画像表示用ネットワーク管理ソフトウェア

「LumiCal・LimiCalAdministrator」=システム構成図=を開発した。



医療画像を表示するモニタでは、同じ画像を異なる場所や違った時刻で表示させた場合でも、常に同一かつ最適な画質で画像診断などができるよう、表示する画像を高い精度で再現できることが求められる。

今回開発した「LumiCal」は、ネットワーク内に接続されているモニタでDICOMの定める特性に従い、常に一定の表示品質を保つことができるよう必要に応じて自動キャリブレーションを実行することができるネットワークキャリブレーションソフトである。

また、ネットワーク内に接続されているモニタの稼働状況を定期的にモニタリングし、ネットワーク内のサーバーからの要求に対して必要な情報を提供するネットワーク管理ソフトウェア「LumiCalAdministrator」を併せて使用することにより、ネットワーク内に接続されたすべてのモニタを常に最適な状態に維持することが可能となる。稼働状況には、バックライトの輝度、モニタの稼働時間、モニタ内の温度、モニタのオン/オフ状態などが含まれ、定期的なモニタリングで異常を検出した場合にはアラートを発生する機能もある。

※問い合わせ先=リアルビジョン 営業部 ☎045・473・7331